



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社 大泉製作所  
 コード番号 6618 URL <http://www.ohizumi-mfg.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 英恒

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 成樹

TEL 04-2953-9212

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,130	1.2	330	6.3	269	128.7	210	209.9
29年3月期第2四半期	6,060	3.1	311		117		67	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 283百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 121百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	25.15	25.07
29年3月期第2四半期	8.62	8.61

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	8,304	1,698	20.4	202.01
29年3月期	8,504	1,408	16.5	168.14

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,690百万円 29年3月期 1,406百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,295	0.9	656	9.4	506	27.0	310	18.2	37.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,367,468 株	29年3月期	8,367,468 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	178 株	29年3月期	178 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,367,468 株	29年3月期2Q	7,880,333 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間（以下、当四半期）における経済情勢は、欧米における経済政策の動向に不透明さはあるものの着実な回復基調を維持しました。中国ではインフラ関連の投資拡大等から安定的な成長が継続しました。国内においても、雇用情勢の改善に伴い緩やかな回復傾向にあり、設備投資や生産動向も堅調に推移しました。

このような環境の下、当四半期における当社グループの売上高は、6,130百万円（前年同期は6,060百万円）と前年同期比1.2%の微増となりました。営業利益は330百万円（前年同期は311百万円）、経常利益は269百万円（前年同期は117百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円（前年同期は67百万円）と増益となりました。

当四半期は、日本・中国・タイの三極生産体制の整備、新規顧客開拓等、持続的な成長・発展を着実に進められるよう、成長戦略の推進・強化に取り組んでまいりました。また、継続した原価低減活動や高付加価値製品の創出、計画的な生産対応により操業度の向上に取組み、更なる収益力の強化を推進した結果、営業利益は前年同期比19百万円の増加となりました。

また、営業外損益面では、前年は為替変動の影響により為替損失や香港事務所閉鎖費用等が生じましたが、当四半期は大きな損失計上はなく、経常利益は想定を上回る増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,304百万円（前連結会計年度末比199百万円の減少）（前連結会計年度末比2.3%減）となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

負債につきましては6,606百万円（前連結会計年度末比489百万円の減少）（前連結会計年度末比6.9%減）となりました。これは主に借入金などの減少によるものであります。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円の計上、及び為替換算調整勘定が85百万円増加したこと等により、純資産は1,698百万円（前連結会計年度末比289百万円の増加）（前連結会計年度末比20.6%増）となりました。また、自己資本比率は20.4%（前連結会計年度末比3.9ポイント増）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1百万円増加し、997百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、635百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益268百万円、減価償却費165百万円及び仕入債務の増加額86百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、74百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出236百万円等による資金の減少、及び定期預金の純減少額164百万円等による資金の増加によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、579百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額215百万円及び長期借入金の返済による支出399百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社を取り巻く事業環境については、自動車部品事業分野では、今年4月ドイツに開設した欧州事務所の効果もあり、各自動車部品メーカーからの新規引合いや受注が堅調となっております。更には欧米、ASEAN向け取引は、当初見込み数量を上回る見込みとなっております。 エレメント・カスタム部品事業分野につきましては、光通信用半導体レーザーにやや足踏み傾向がみられるものの、好調な工作機械市場の後押しにより予想を上回る推移となっております。空調部品分野においては、不採算取引の終息に伴い売上は減少しておりますが、収益は改善されております。

当期は中長期の成長を支える事業展開と安定した収益構造を目指し、更なる競争力強化に取り組んでおります。グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、生産工程、生産能力の合理化と増強、徹底した間接費の削減に取り組み、着実に実行してまいります。

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、為替変動や原材料の高騰等、不透明な状況となっております。従いまして、平成29年5月15日に公表しました通期の業績予想数値に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,326,454	1,163,927
受取手形及び売掛金(純額)	2,568,536	2,411,778
商品及び製品	645,532	748,854
仕掛品	794,301	756,530
原材料及び貯蔵品	677,863	658,946
その他	122,776	104,142
流動資産合計	6,135,465	5,844,180
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	779,069	760,277
その他(純額)	1,326,276	1,404,059
有形固定資産合計	2,105,345	2,164,336
無形固定資産	13,816	37,684
投資その他の資産	250,122	258,775
固定資産合計	2,369,285	2,460,796
資産合計	8,504,750	8,304,977
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014,596	1,113,722
短期借入金	1,680,897	1,469,134
1年内返済予定の長期借入金	889,828	882,062
未払法人税等	128,113	93,739
その他	1,161,796	1,114,217
流動負債合計	4,875,231	4,672,875
固定負債		
長期借入金	1,458,826	1,170,801
退職給付に係る負債	646,897	653,324
資産除去債務	28,886	24,481
その他	85,942	84,618
固定負債合計	2,220,554	1,933,225
負債合計	7,095,786	6,606,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,039,484	1,039,484
資本剰余金	509,910	509,910
利益剰余金	△496,990	△286,583
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,052,330	1,262,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,922	6,765
為替換算調整勘定	394,595	479,871
退職給付に係る調整累計額	△48,001	△59,107
その他の包括利益累計額合計	354,516	427,529
新株予約権	2,117	8,607
純資産合計	1,408,963	1,698,875
負債純資産合計	8,504,750	8,304,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,060,336	6,130,677
売上原価	4,905,275	4,908,258
売上総利益	1,155,060	1,222,418
販売費及び一般管理費	843,941	891,687
営業利益	311,119	330,730
営業外収益		
受取利息	1,760	1,443
受取配当金	481	612
助成金収入	485	202
その他	6,950	3,852
営業外収益合計	9,678	6,110
営業外費用		
支払利息	59,451	47,101
新株発行費	242	100
手形売却損	1,628	941
為替差損	101,967	14,876
その他	39,726	4,462
営業外費用合計	203,016	67,483
経常利益	117,780	269,358
特別利益		
固定資産売却益	896	—
特別利益合計	896	—
特別損失		
固定資産除却損	203	499
特別損失合計	203	499
税金等調整前四半期純利益	118,473	268,858
法人税、住民税及び事業税	46,005	58,545
法人税等調整額	4,563	△94
法人税等合計	50,569	58,451
四半期純利益	67,903	210,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,903	210,407

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	67,903	210,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,102	△1,157
為替換算調整勘定	△246,142	85,276
退職給付に係る調整額	55,697	△11,105
その他の包括利益合計	△189,341	73,013
四半期包括利益	△121,438	283,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,438	283,421
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	118,473	268,858
減価償却費	174,956	165,332
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,056	△2,107
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,597	14,203
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	23,565	△29,766
受取利息及び受取配当金	△2,242	△2,056
支払利息	59,451	47,101
手形売却損	1,628	941
為替差損益(△は益)	17,568	8,160
固定資産除却損	203	499
固定資産売却損益(△は益)	△896	—
売上債権の増減額(△は増加)	△318,928	196,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	143,271	△12,883
仕入債務の増減額(△は減少)	250,942	86,259
その他	△46,587	30,962
小計	433,949	772,310
利息及び配当金の受取額	2,237	2,060
利息の支払額	△60,371	△54,695
手形売却に伴う支払額	△1,628	△941
法人税等の支払額	△10,894	△83,711
法人税等の還付額	195	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,487	635,022
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,288	△236,147
有形固定資産の売却による収入	1,039	—
無形固定資産の取得による支出	—	△4,691
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△0
貸付金の回収による収入	—	1,230
定期預金の純増減額(△は増加)	△44,000	164,400
敷金及び保証金の差入による支出	△3,495	△372
敷金及び保証金の回収による収入	3,642	1,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,502	△74,537
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	308,897	△215,962
長期借入れによる収入	570,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△329,258	△399,751
リース債務の返済による支出	△75,586	△63,478
株式の発行による収入	3,805	—
その他	52	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	477,910	△579,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,280	20,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	693,614	1,873
現金及び現金同等物の期首残高	391,577	996,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,085,192	997,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。